

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回吉川市障がい者計画推進協議会
開 催 日 時	平成25年2月20日(水) 午後 1時30分から 午後 3時10分まで
開 催 場 所	吉川市保健センター 集団指導室
出席委員(者)氏名 (名簿順表記)	高畑委員長、小山副委員長、大西委員、八木委員、戸張委員、 田口委員、須田委員、石井委員、宮川委員、坂入委員、濱本委員 合計11名
欠席委員(者)氏名	水上委員
担当課職員職氏名	健康福祉部次長兼社会福祉課長 林芳男 同課障がい福祉係長 小林以津己 同課障がい福祉係主任 小原祥江
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 あいさつ 3 委嘱及び委員の紹介 4 委員長、副委員長選出 5 会議傍聴要領の制定について 6 議事 (1) 第3次吉川市障がい者計画について (2) 吉川市の障がい者福祉の現状について (3) 第3次吉川市障がい者計画の進捗状況について (4) その他 会議は公開とする。
非公開の理由	
傍聴者の数	0人

<p>会議資料の名称</p>	<p>会議次第 第3次吉川市障がい者計画 吉川市障がい者計画推進協議会設置要綱 吉川市障がい者計画推進協議会会議傍聴要領 資料1-1：吉川市の障がい者福祉の現状 資料1-2：主な吉川市の障がい者福祉の動向 資料2：第3次吉川市障がい者計画の取り組み状況 資料3：吉川市障がい者計画推進協議会委員名簿</p>
<p>会議録の作成方法</p>	<p><input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録</p>
<p>会議録確認指定者</p>	<p>大西委員、八木委員</p>
<p>その他の必要事項</p>	<p>なし</p>

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	<p>1 開会 (記録省略)</p> <p>2 あいさつ (記録省略)</p> <p>3 委嘱および委員の紹介 (記録省略)</p> <p>委員長、副委員長が決まっていないので議事進行は事務局が代行する。本会議は出席が11名、欠席は1名のため成立する。</p> <p>4 委員長、副委員長の選出</p> <p>互選だが、立候補又は推薦があるか。</p> <p style="text-align: center;">【意見なし】</p> <p>事務局案として、委員長は高畑委員、副委員長は小山委員にお願いしたい。</p> <p style="text-align: center;">【一同了承】</p>
高畑委員長	あいさつ (記録省略)
小山副委員長	あいさつ (記録省略)
事務局	以降は、高畑委員長に議事進行をお願いする。
高畑委員長	<p>5 会議傍聴要領の制定について</p> <p>事務局に会議傍聴要領(案)の説明を求める。</p>

事務局	<p>会議傍聴要領（案）の説明 （要旨） 個人情報を取り扱う場合以外は原則公開となる。傍聴人の定員は5名でいかがか。</p>
高畑委員長	<p>会議は原則公開、傍聴人の定員は5名でよいか。</p> <p style="text-align: center;">【一同了承】</p>
高畑委員長	<p>議事録は公開し、署名人は名簿順とする。本会議の議事録署名人は大西委員と八木委員にお任せする。</p>
高畑委員長	<p>6 議 事 （1）第3次吉川市障がい者計画について 事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>第3次吉川市障がい者計画により説明（記録省略）</p>
高畑委員長	<p>これから議論の対象となる計画についての説明であった。議論するに当たり計画を理解しておく必要がある。意見や質問はないか。</p> <p style="text-align: center;">【意見なし】</p>
高畑委員長	<p>（2）吉川市の障がい者福祉の現状について 事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>資料1－1により説明（記録省略）</p>
高畑委員長	<p>吉川市の障がい者及び障がい福祉サービスについての説明であった。意見等はないか。</p>

濱本委員	<p>現状では障がいや障がい者への理解が不十分であると感じる。そのため障がい者手帳の申請を躊躇したり、また福祉施設の開設が地域で反対されるなどの事態が発生しているのではないかと感じる。</p> <p>理解を深めるための啓発が必要なのではないかと感じる。</p>
高畑委員長	<p>理解を進める取り組みは、計画においてどのように考えられているのか。事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>計画策定の過程においても、理解の促進は重要との意見があった。このため計画においては相互理解と権利擁護を大きなテーマとし、啓発に努めることとしている。しかし、理解促進は、1つの手法によって容易になされるものではない。</p> <p>福祉施設については、近隣住民と良い関係が築かれ、理解促進が他の地域より進んでいる例もある。</p> <p>様々な手法によって多くの方が取り組んでいく必要があるため、多くの方の協力のもと進めてまいりたい。</p>
戸張委員	<p>私が理事長を務める特定非営利活動法人なまずの里福祉会が精神障がい者の通所する小規模作業所を開設する際、小学校が近かったこともあり、地域の方々や小学校、近隣の農協などに説明を行った。いずれも非常に協力的な対応により迎えていただき、現在の発展をみている。</p> <p>反対運動が起こった他市の例も耳にしているが、偏見によって排除しようとする動きばかりではないことを申し添えたい。</p>
濱本委員	<p>その旨承知した。しかし、当事者として依然理解は不十分であると認識しており、理解促進の重要性はご承知いただきたい。</p>
高畑委員長	<p>計画の推進において取り組むべき事項と認識する。</p> <p>他に意見等はないか。</p>

	【意見なし】
高畑委員長	(3) 第3次吉川市障がい者計画の進捗状況について事務局に説明を求める。
事務局	資料1-2、資料2により説明(記録省略)
高畑委員長	計画の進捗よく状況及び障がい福祉を取り巻く状況や動きの説明であった。意見等はないか。
大西委員	良い内容の計画だと思うので進捗よく状況について見守っていきたい。
八木委員	利用者に合わせてサービス利用計画の作成を進めているとのことだが、資源や制度を有効に活用するために重要なことだと考える。
田口委員	事業の内容や進捗よくについて十分に検討していきたい。
宮川委員	地域定着支援は具体的にどのような支援を実施するのか。
事務局	施設や病院から生活の場を地域に移すと環境が大きく変わるため、安定した日常生活を営むことが困難な場合がある。そのため、常時の連絡体制を確保し、日常生活に関する相談をはじめ訪問などにより安定した日常生活の支援を行うものである。 現時点での利用者はすべて精神障がい者となっている。
戸張委員	サービスの提供を行っている事業者として補足する。精神科病院ではかなりの長期にわたって入院している方がいるのが現状であり、地域移行支援及び地域定着支援は、そのような方が退院して地域で生活できるように創設された制度である。

高畑委員長	<p>同様に地域での生活支援として特定非営利法人なまずの里福祉会ではフリースペースを設置し、日中の居場所の確保を進めた。</p> <p>いずれにしても障がい福祉の制度はかなりの速度で変化していると感じる。</p> <p>生活の場を施設から地域へという動きの中で生まれてきたサービスである。地域定着支援は医療にかかっていない方の支援も行うので保健部門との関わりも大切であると考えます。</p> <p>また、障がい福祉を取り巻く環境は大きく動いており、行政だけでなく民間事業者等の果たす役割は大きくなっている。</p>
濱本委員	<p>障がい福祉サービスは向上していると感じるが、理解の促進をはじめ、決して十分とは言えないと思う。一層の取り組みが必要であると考えます。</p>
高畑委員長	<p>当事者の方や団体での活動も大きな力になっていくと思う。</p>
坂入委員	<p>障がい福祉サービスが向上しているのは分かる。一方でサービスを担う事業者等の負担が大きくなっているのではないかと危惧する。人員をはじめとして十分な体制がとれるような制度設計が必要と感じる。</p> <p>また、資料によると視覚障がい者の人数が多いと思うが、この方たちに対する支援はどのようになっているのか。</p>
事務局	<p>視覚障がい者については、特にコミュニケーションの支援が重要と考える。市では朗読サークルきんもくせいの協力のもと、声の広報を提供しているが、録音媒体の変更など継続的な提供のための取り組みを行っている。合わせて必要な機器の普及も図っていきたいと考えている。支援が十分ではないとの声をいただいているので、その他の支援手法も含めて研究していきたい。</p>

高畑委員長	<p>情報保障は自己で判断を行うためにも大切である。</p>
石井委員	<p>声の広報は今までカセットテープで提供していたが、近い将来提供が困難になると思われる。朗読サークルきんもくせいにおいても新たなマンパワーも得られたので取り組んでいきたい。</p> <p>また、相互理解についてだが、後天性の障がいをお持ちの方はなお一層、理解されないと感じることは強く共感できる。有効な手法として幼少から障がいがある者もない者も一緒に学ぶことが挙げられると思う。課題はあると思うが、ぜひ進めて欲しいと思う。</p>
濱本委員	<p>障がいも一つの個性として多様性を認めることが大切だと思う。多くの生活スタイルがあることが当たり前であることと同じだと思う。</p>
須田委員	<p>グループホーム・ケアホームの設置、運営に関しては民間事業者が実施することに不安を感じる。</p> <p>また、障がい者への理解についてだが、社会には多様な考えを持つ方がおり、理解されていないと感じることもあるかもしれないが、多くの人と関わりを持つことの利点も大きいと当事者の家族の立場から感じる。前向きにがんばれるよう応援したいと思う。</p>
戸張委員	<p>障がいのある未就学児への支援はどのようになっているのか。また、難病患者団体の活動などはどうか。</p>
事務局	<p>未就学児については、障がいを早期に発見し、関係部署が連携して支援を行うことが大切と考えるため、その点について取り組んでいるところである。</p> <p>また、難病患者の団体の活動については詳細は把握していない。</p>

高畑委員長	他に意見等はないか。 【意見なし】
高畑委員長	(8) その他 事務局に説明を求める。
事務局	事務連絡 (記録省略)
高畑委員長	他に何かあるか。なければ以上で議事を終了する。
小山副委員長	7 閉 会 閉会のあいさつ (記録省略)
以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。 平成25年3月6日 署名委員 署名委員	